

第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会

平成 24 年 4 月 13～15 日にかけて神戸ポートピアホテル/神戸国際展示場(神戸)にて第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会が開催されました。

当会は岡山大学大学院産科・婦人科学教室、平松裕司教授を会長とし、開催されました。

基礎・臨床を含め多くの演題が発表され、随所で非常に活発な議論が展開されておりました。

当大学からは男女共同参画を始めガイドライン解説婦人科外来編やクリニカルレクチャー、会長特別企画ワークショップ、若手医師メンバー企画セッションなどでの講演が計 5 題、高得点演題に採択されました演題が 2 題、一般演題で 11 題の発表がなされ、また、6 セッションで座長を務めました。

特に伊藤先生が指定発言をされました男女共同参画・女性の健康週間委員会企画「産婦人科から発信する男女共同参画ーより充実した研修とキャリア継続のためにー」では先日文部科学省より発表されました「周産期医療に関わる専門的スタッフの養成」事業の中間報告で当東北大学産婦人科が唯一の S 評価を得たことが紹介され、女性医師への取り組みやホームページの工夫などが強く照会されました。

また、高得点演題では伊藤拓哉先生、北村真理先生が採択されましたが惜しくもグッドプレゼンテーション賞の受賞とはなりませんでした。しかし、遜色ない堂々とした内容・発表でありまた次回への期待がふくらんだ次第です。

一般演題では若手の先生を中心に発表が続き、各会場で時間をオーバーするなど非常に活発な議論が行われました。

来年度第 65 回は北海道大学の主催で札幌での開催となります。

